

フォトジェニックの次は「音」ジェニック！独自調査で若い女性ほど「食事の音」に敏感な傾向に女性が“一番好きな音”は「サクサク」、そして次に来るのは「バリバリ」！？

12月6日の「音の日」にあわせ、流行のASMRでも注目されている“食事の音”の調査を実施。

オハヨー乳業株式会社（本社：岡山市中区、代表取締役社長：野津 基弘）は、食事の時の「音」に着目し、12月6日の「音の日」に合わせてアンケートを実施。その結果、女性に好まれる音や、音に対する世代間の傾向が明らかになりました。

■調査背景

「食は“五味五感”で楽しむ」とも言われています。五味（甘味、酸味、苦味、辛味、塩味）と、五感（味覚・視覚・嗅覚・触覚・聴覚）は、おいしさを決定づける重要な要素です。このうち「音（聴覚）」については、食事の際のBGMなどが重視されていましたが、「食べる時の音」についてはあまり注目されていませんでした。

他方、最近のトレンドニュースでは音を扱う「ASMR」がヒット予測の上位にランクインしており、直近の検索数（Google Trends）も2017年比で約6倍に上昇。Youtubeでも多数の動画が投稿・視聴されており、インスタ映えするフォトジェニックならぬ「音ジェニック」というキーワードも登場しています。これらのトレンドから、積極的に音を楽しむ様子がうかがわれます。そこで今回、食にまつわる「音」について調査を実施しましたので、その結果をご紹介します。

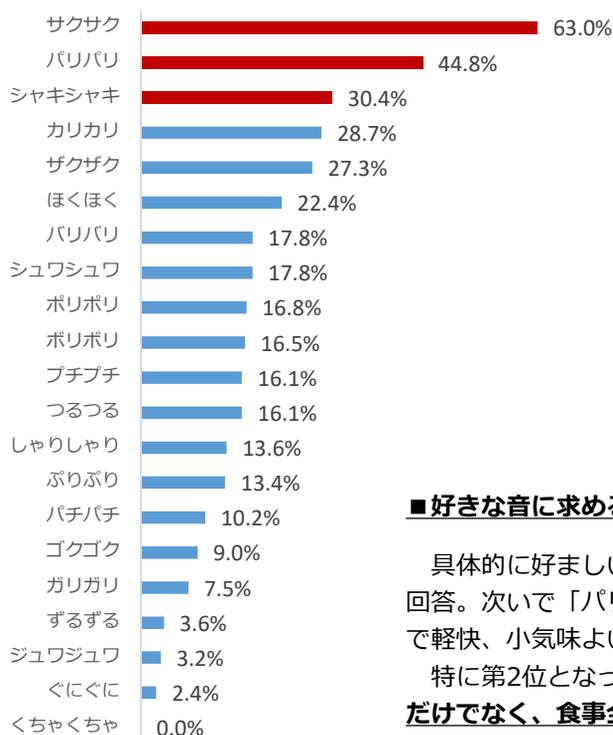
■調査概要

| | |
|------------------------------------|----------------|
| ・調査方法：インターネットリサーチ | ・調査地域：全国 |
| ・調査対象：日経ウーマノミクス・フォーラム会員 | ・回答者数：411名（女性） |
| ・調査期間：2019年11月26日（火）～2019年12月4日（水） | |

■音の日とは

1877年12月6日、トーマス・エジソンが蓄音機を発明したことにちなみ、1994年に日本オーディオ協会が記念日として制定されました。ご参考URL…https://www.jas-audio.or.jp/events_cat/sound-day

■食べている時の音で好きなもの（MA）



■7割が「音が好きな食べ物がある」

400名超の女性へのアンケートでは、全世代を通じて約7割の方が「音が好きな食べ物がある」と回答。この傾向は若い世代ほど顕著に出ており、20代以下の女性に限定すると、8割以上の方が「ある」と回答しました（次ページ参照）。

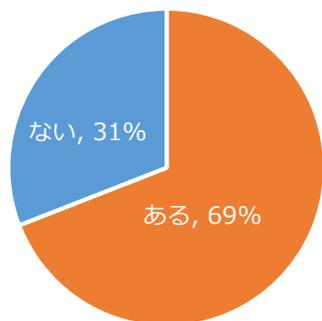
「食べている時の音が好きで食品を選ぶことがある」と答えたのは、全体で約2割。こちらも若い世代ほど高い傾向となり、20代以下の女性では約3割の方が「ある」と回答。逆に60代以上では「ある」と回答されたのはわずか5%という結果になりました。これらの結果から、若い世代ほど食品の選択時に「音」が影響していることがうかがえました。

■好きな音に求めるのは「軽快さ」、次のブームは「バリバリ」！？

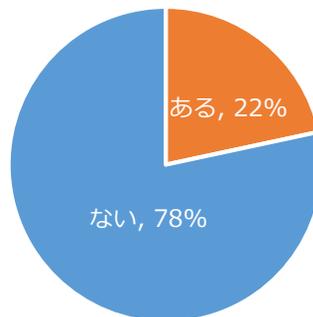
具体的に好ましい音については、6割以上の方が「サクサク」音が好きと回答。次いで「バリバリ」「シャキシャキ」「カリカリ」と並び、さわやかで軽快、小気味よい音が好まれている様子がうかがわれます。

特に第2位となった「バリバリ」音は、**“割る体験”を伴うため、口の中だけでなく、食事全体で幅広い接点があります。これまでトレンドだった「サクサク」に代わり、次の音ブームの牽引役として期待されます。**

■「食べている時の音」が好きな
食べ物はありますか



■「食べている時の音」が好きで
食品を選ぶことがありますか



「食べている時の音」が好きな食べ物がある



■若い世代ほど、食事の音に敏感で積極的

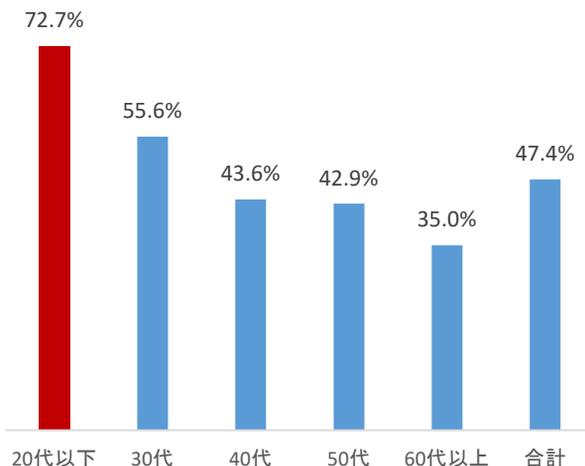
食べる時の「音」については、若い世代ほど敏感なことがわかりました。「食べている時の音が好きな食べ物がある」「食べている時の音が好きで食品を選ぶことがある」「食べる時に音が出るという理由で食品の購入をやめることがある」のいずれの質問も、若い世代ほど高い結果が得られています。一方で、自分や他人が発する「食事の音」はどの世代でも強く意識されており、8割前後の方が気を使っていることが明らかになりました。

この結果から、食事の「マナー」としての音は全世代が意識しつつ、若い世代ほど積極的に「食と音」の関係を楽しんでいる様子が伺えます。

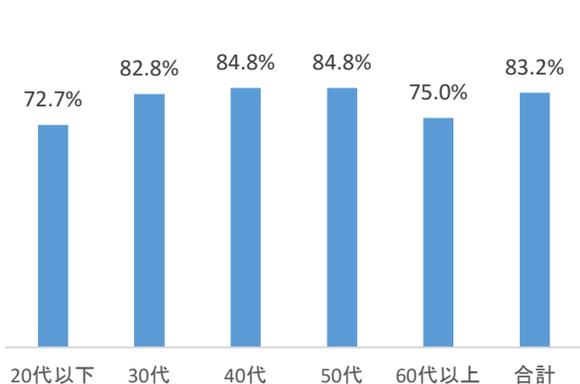
「食べている時の音」が好きで
食品を選ぶことがある



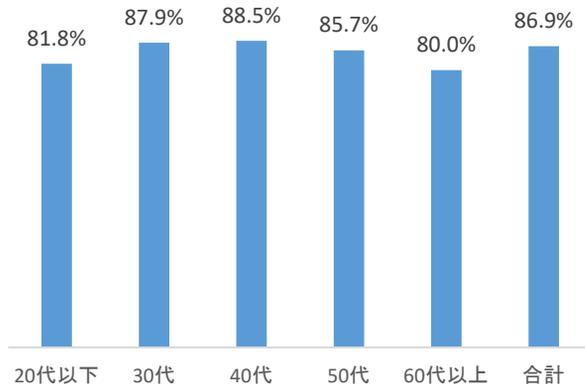
「食べる時に音が出るから」という理由で
食品の購入をやめてしまうことがある



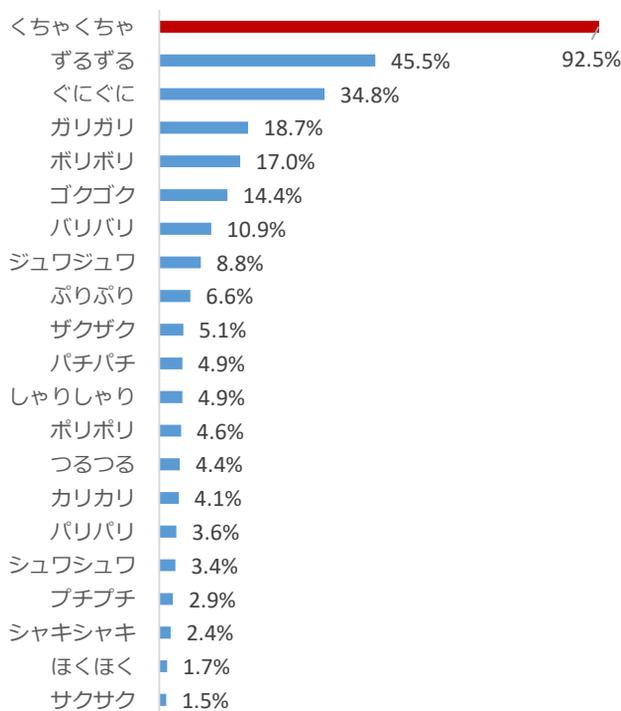
**他の人の食べる音が
気になってしまうことがある**



何かを食べるとき自分の音について気を使う



■ 食べている時の音で嫌いなもの (MA)

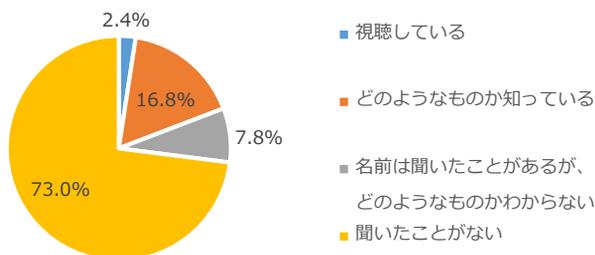


**■ 嫌いな音の1位は「くちやくちゃ」
濁音系の音は全般的に嫌われる傾向に**

「食べているときの嫌いな音」はほとんどの方が「くちやくちゃ」を指摘。従来から敬遠され、「クチャラー」というフレーズも生み出した「くちやくちゃ」音がいかに嫌われているか、改めて明らかになりました。

第2位から10位までは、「ずるずる」「ぐにぐに」「ポリポリ」などの「濁音系」がランクイン。濁った音が、そのまま不快感につながっている傾向がうかがわれます。上述の「音が出るから買わない」食品としても、「ズルズル音がするストローを使った飲料」「ポリポリ音が立つ硬いおせんべい」などの具体的なコメントも有りました。どのような音に嫌悪感を感じているか、その傾向が今回の調査からうかがわれます。

■ ASMRをご存知ですか (SA)



■ 流行の兆し「ASMR」の認知は…?

近年注目を集めている「ASMR (Autonomous Sensory Meridian Response)」について訪ねたところ、実際に視聴している、もしくはどのようなものかを知っているのは2割未満と、現時点では十分な認知が進んでいないことがわかりました。

「ASMR」はトレンド情報誌等で2020年のヒット予測の上位にランクインしており、現在はYoutubeなどでも多数の音源が投稿・視聴されています。若い世代の「音」に対する感度の高さや、様々な企業の取組事例を考慮すると、このASMRは今後ますます注目されるのではないのでしょうか？

2019年秋、さらにパリパリ食感をお楽しみいただけるようリニューアルしました
アイスを焼く、という驚きの発想をカタチにしたプレミアムアイス
「BRULEE (ブリュレ)」「BRULEE チョコレート」



■ BRULEE (ブリュレ) シリーズについて

- ① **アイスを焼く、という驚き／あまりの人気のに、発売直後はわずか10日間で販売休止に**
「BRULEE (ブリュレ)」は、2017年4月に発売。
“アイスを焼く”という驚きの発想、洋生菓子の王道「クレームブリュレ」のようなパリパリとしたキャラメリゼ、そしてミルクリッチなアイスクリームが多くのお客様からご好評をいただいています。その人気は弊社の想定を大きく上回り、2017年の発売当初は、わずか10日でやむなく販売を休止せざるを得ないほどでした。
2017年秋より段階的に販売を再開し、2018年秋から全国で販売しています。
- ② **カカオの香り豊かな「BRULEE チョコレート」**
シリーズ第2弾となる「BRULEE チョコレート」は2019年3月発売。
キャラメリゼした香ばしい焼き目の下には、厳選した原料を使用したチョコアイス。香り高いチョコレートとミルクのkokuをお楽しみいただける贅沢なアイスに仕上げました。隠し味の赤ワインもおいしさの秘密です。
- ③ **2019年秋、さらに「パリパリ食感」をお楽しみいただけるようにリニューアル**
BRULEEシリーズの最大の特長は、香ばしく焼き上げた「パリパリ」としたキャラメリゼ部分にあります。そこで今秋、BRULEE (ブリュレ) のキャラメリゼをより美味しく召し上がっていただくため、厚みや食感を改良。さらに楽しんでいただけるようになりました。
- ④ **開けるときから「音」を楽しんでいただける商品設計**
BRULEEのパッケージは、化粧品などでもよく使われる光沢感の有るパール印刷を採用。さらに輝く箔押しで品質の高さを表現しました。また、パッケージを開く時のミシン目の音にもこだわりました。食感はもちろん、召し上がっていただく特別な時間の始まりも優雅に演出します。

| | | | |
|------|--------------------------------|--------|-------------------------------------|
| 商品名 | BRULEE (ブリュレ) BRULEE チョコレート | | |
| 種類別 | アイスクリーム | 保存方法 | 要冷凍 (-18℃以下) |
| 内容量 | 104ml | 希望小売価格 | オープンプライス |
| 販売地域 | 全国 | 発売日 | 発売中 ※2019年秋 BRULEE (ブリュレ) リニューアル |